

公益社団法人私立大学情報教育協会
平成 26 年度第 2 回情報セキュリティ研究講習会運営委員会議事記録

- I. 日 時：平成 26 年 5 月 22 日(木) 11:00 から 13:00
II. 場 所：アルカディア市ヶ谷（私学会館）
III. 参加者：浜委員長、市川委員、島崎委員、服部委員、横田委員、岡委員、岡部委員、(Skype)
（事務局）井端事務局長、野本（記）

IV. 検討事項

1. スケジュールの確認

- ・ 次回の委員会は 6 月 5 日に開催し、開催要項の確定をすることにした。また、委員会終了後に継続して業務継続のための危機管理対応のガイドライン作成に向けた事例研究を行う事になっている。学務継続のため災害時を想定して、外部センターに預けることで良いのか、復旧する仕組みをどのように考えるか、例えば、大学が相互に力をかりること、職員の行き来をしてはどうかなど大学連携の問題を提起できないか。
- ・ 大学インシデント共有の仕組み作りは、委員校 2 校の事例をとりまとめるとともに、6 月 19 日に関西地区の大学でヒアリングを行う予定としている。インシデントや攻撃の情報について、どういうレベルなら共有できるのか、ルールなど取り組みの問題を提起できないか。

2. 講習会について

- ・ 会場校については、事前に検討されて予定教室の案が提示されたが、費用等の問題で再調整を行うことにした。
- ・ 開催趣旨については、標的型攻撃だけでなく脅かすリスク全般に対して、「教育」、「研究」、「組織運営」への対策を強調する意見があった。
- ・ 講習は全体会とコースに分かれる形を継承するが、コース名については「テクニカルコース」と「マネジメントコース」に由来より短縮することにした。
- ・ テクニカルコースは、参加者のレベルを配慮して、2 コースに分ける案が提示されたが、現実的に運営できるか不安要素が大きいため、1 コースにすることにした。
- ・ 参加者が、他大学との交流を求めていることがあり、マネジメントコースでは、ワールドカフェ方式として、一人固定でローテーションさせ、多くの交流を図ることにしたい。また、テクニカルとマネジメントの全体交流として最後に一緒での実施を検討することにした。
- ・ セッションごとにコースを限定しない自由選択も提示されたが、最終の合同以外は各コース別の固定で移動は行わないことにした。
- ・ 講習会の開始、終了時間については、全国地域からの参加で宿泊が 2 泊になるかの考慮から、13 時開始で翌日 15 時終了にすることにした。全体会は 2 時間の想定で、以降コースに分かれて、最終コマは再度合同での開催を予定することにした。
- ・ 全体会は講演者 2 名で、サイバー攻撃全体について理解の共有を図る。
- ・ テクニカルコースは、「標的型攻撃とインシデントレスポンス」、「遠隔操作ツールの悪用」、「インシデントレスポンス演習（調査、解析）」、「ネットワークセキュリティの基本技術と設計」、「インシデントレスポンス演習（検出）」を予定することにした。運営には外部有識者や企業の協力を得ることにした。
- ・ マネジメントコースは、「災害など非常時における情報基盤運用の業務継続性」、「インシデント及びサイバー攻撃情報の紹介及び情報共有と連携体制」を予定することにした。例えばネットバンクなどの手口事例などの紹介を検討することにした。
- ・ 総合演習は、「サイバー攻撃に強いシステム・ネットワークづくり」として、情報流出のシナリオで、技術者及び責任者の対応を考えて演習をすることにした。

V. 次回のスケジュール

- ・ 開催要項は 6 月中旬に発行すること計画し、次回委員会は 6 月 5 日に開催することにした。